

Business
Report

へんしも

第55期 中間期／[2025年4月1日～2025年9月30日]

守るを創る

表紙写真：当社CMより抜粋（出演者：まきの時埜ひなさん）

兼松エンジニアリング株式会社

証券コード：6402



ごあいさつ



代表取締役社長

山本 琴一



代表取締役専務

北村 和則

CONTENTS

- 1 ごあいさつ
 -
- 2～3 財務ハイライト
 -
- 4 財務諸表
 -
- 5～6 事業概要
 -
- 7 製品トピックス
 -
- 8～9 トピックス
 -
- 10 会社情報

表題 へんしも(土佐弁)の解説

「へんしも」とは土佐弁で「早く」「急いで」の意。
スピーディーな情報開示の想いです。

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
また、平素より、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

第55期中間期決算のご報告として「BUSINESS REPORTへんしも」をお届けいたします。

中期経営計画・第55期全社活動方針

当期は、3年間にわたる中期経営計画（スローガン「つねぜん-TUNEZEN」）の初年度であり、重点実施事項としまして

1. [事業基盤の強化]

- ①生産性向上
- ②サプライチェーンの再構築
- ③技術・技能の伝承・教育
- ④コスト低減

2. [ワークライフバランスの充実]

- ①DXの取組
- ②インナーブランディングの取組
- ③労働環境の整備

3. [価値の提供]

- ①主力製品の確立・進化
- ②新市場・新製品への挑戦
- ③コンプライアンス
- ④アウターブランディングの取組

に取り組んでおります。

株主の皆様におかれましては、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2025年11月

営業の概況等

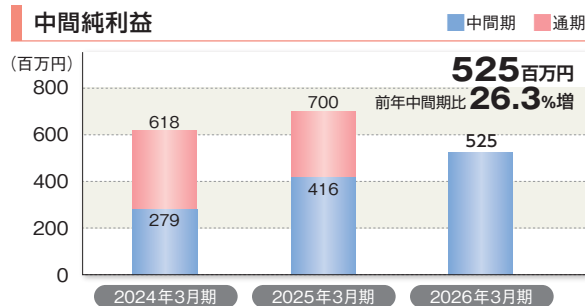
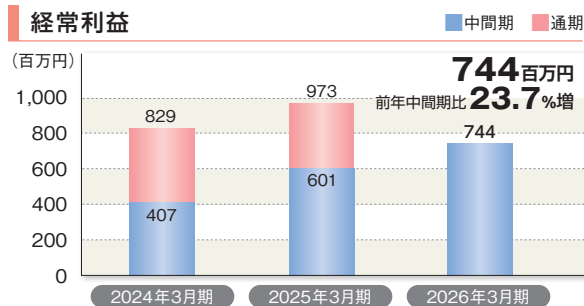
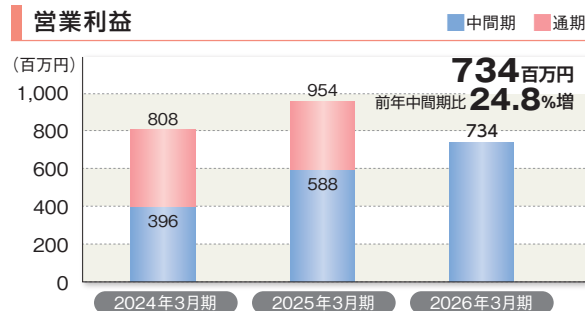
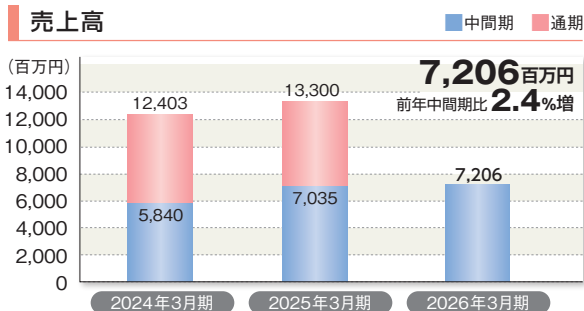
当中間会計期間における我が国経済は、アメリカの通商政策等による影響が自動車産業を中心にみられるものの、景気は緩やかに回復しております。先行きにつきましては、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が緩やかな回復を支えることが期待されますが、アメリカの通商政策等の影響による景気の下振れリスクには留意が必要となっております。加えて、物価上昇の継続が消費者マインドの下振れ等を通じて個人消費に及ぼす影響なども、我が国の景気を下押しするリスクとなっております。

かかる状況下、当中間会計期間は、粉粒体吸引・圧送車

の販売増加、高压洗浄車の販売増加及び部品販売も伸長したことにより、前年中間期比増収・増益の結果となりました。

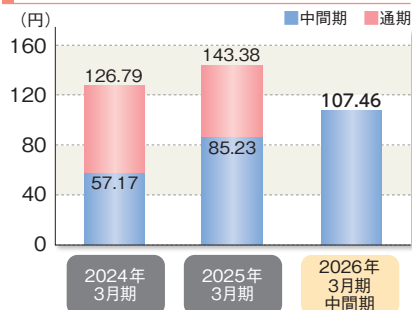
業績(数値)につきましては、前中間会計期間に比べ受注高は1,308百万円増の8,387百万円(前年中間期比18.5%増)、売上高は170百万円増の7,206百万円(前年中間期比2.4%増)となりました。損益につきましては、営業利益は145百万円増の734百万円(前年中間期比24.8%増)、経常利益は142百万円増の744百万円(前年中間期比23.7%増)、中間純利益は109百万円増の525百万円(前年中間期比26.3%増)を計上することとなりました。

2026年3月期中間期の業績ハイライト

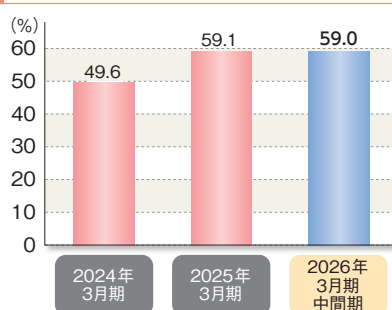


財務分析指標の推移

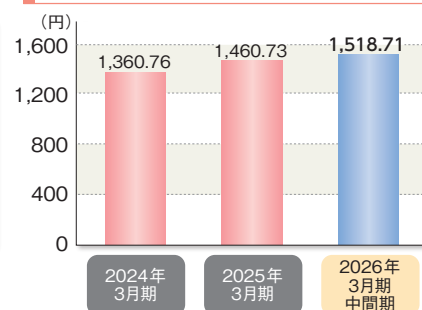
1株当たり純利益



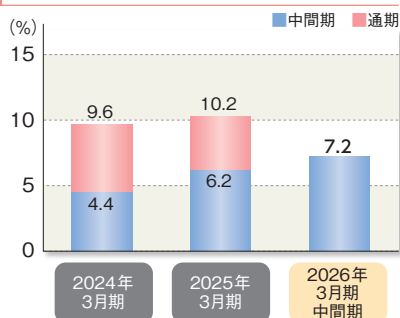
自己資本比率



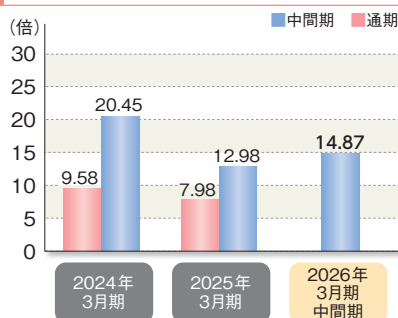
1株当たり純資産



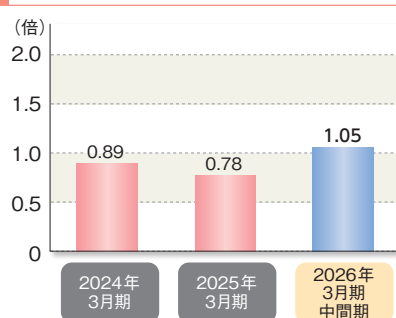
ROE (自己資本利益率)



PER (株価収益率)



PBR (株価純資産倍率)



通期業績予想

項 目	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
通期予想	13,800百万円	1,180百万円	1,200百万円	840百万円	171円62銭

財務諸表

貸借対照表

(単位: 千円)

科 目	当中間期末 (2025年9月30日)	前 期 末 (2025年3月31日)
(資産の部)		
流動資産	7,361,529	6,706,357
固定資産	5,252,483	5,372,987
有形固定資産	4,607,626	4,669,429
無形固定資産	195,278	232,333
投資その他の資産	449,579	471,224
資産合計	12,614,013	12,079,345
(負債の部)		
流動負債	3,905,439	3,493,298
固定負債	1,271,571	1,445,690
負債合計	5,177,010	4,938,988
(純資産の部)		
株主資本	7,426,998	7,134,331
資本金	313,700	313,700
資本剰余金	356,021	356,021
利益剰余金	7,562,815	7,281,745
自己株式	△ 805,538	△ 817,135
評価・換算差額等	10,004	6,024
純資産合計	7,437,002	7,140,356
負債純資産合計	12,614,013	12,079,345

損益計算書

(単位: 千円)

科 目	当中間期 (自 2025年4月 1 日 至 2025年9月30日)	前中間期 (自 2024年4月 1 日 至 2024年9月30日)
売上高	7,206,616	7,035,674
売上原価	5,316,702	5,402,336
売上総利益	1,889,913	1,633,338
販売費及び一般管理費	1,155,396	1,044,568
営業利益	734,516	588,770
営業外収益	18,258	17,891
営業外費用	8,642	5,256
経常利益	744,132	601,405
特別利益	18,030	18
特別損失	23	0
税引前中間純利益	762,138	601,423
法人税等	236,446	185,046
中間純利益	525,692	416,377

キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

科 目	当中間期 (自 2025年4月 1 日 至 2025年9月30日)	前中間期 (自 2024年4月 1 日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,066,030	1,354,589
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 54,622	△ 40,820
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 417,682	△ 387,232
現金及び現金同等物の増減額	593,725	926,536
現金及び現金同等物の期首残高	1,174,161	1,092,714
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,767,886	2,019,250

(注) 記載金額は千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

当社は環境整備機器の製造販売を行っています。
 その中でも産業廃棄物処理関係が主体であり、各種製品の特徴及び売上推移は、次の通りです。

強力吸引作業車・汚泥吸引作業車

売上高 **5,216**百万円

国内最大シェアを占め、産業廃棄物等の収集運搬に用いられるとともに、
 様々な付加機能により用途を広げています。

〈用途〉

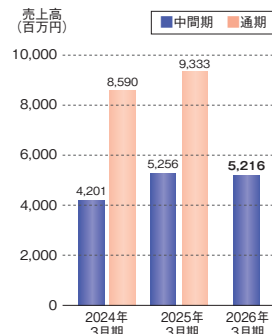
- 廃棄物の収集運搬
- 汚泥の高揚程回収
- 汚泥の長距離吸引



超強力吸引作業車 (SQ-13BVJP)



強力吸引作業車 (SM-04BVP)



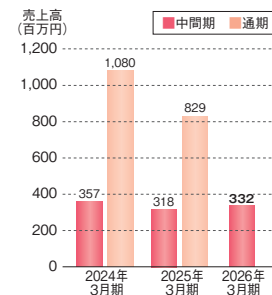
新製品等／その他

売上高 **332**百万円

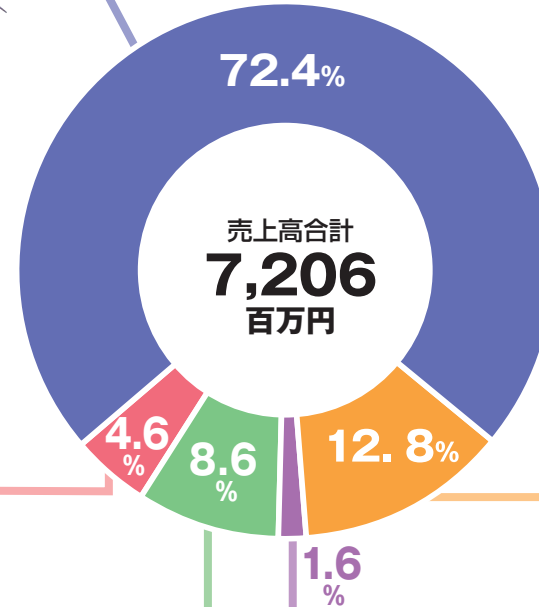
新製品や主要区分に属さない製品及び修理等が含まれています。



トンネル洗浄水処理車 (AG-06CF)



製品別売上高 構成比



売上高合計
7,206
百万円

高圧洗浄車・ビルメンテナンス用清掃車

売上高 **921**百万円

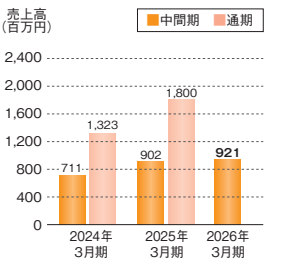
高性能の実現と誰にでも使用できる使い易さで市場に浸透しています。
 強力吸引作業車に次ぐ当社第2の主力製品となっています。

〈用途〉

- 下水道管の洗浄
- ビル配管システムのメンテナンス
- 熱交換器の清掃



高圧洗浄車 (JS-04SS2270A)



粉粒体吸引・圧送車

売上高 **118**百万円

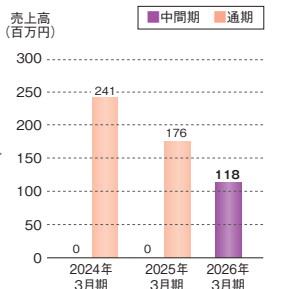
吸引機能と加圧圧送機能を組み合わせ、粉粒体の長距離・高所搬送を行います。

〈用途〉

- 石灰・セメント・原料等
粉粒体の回収・高所搬送



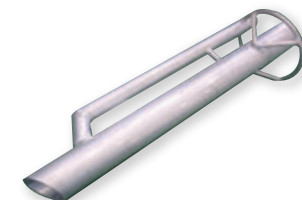
粉粒体吸引圧送車 (NS-13BVYT)



部品販売

売上高 **617**百万円

当社製品に関連する部品の売上げです。



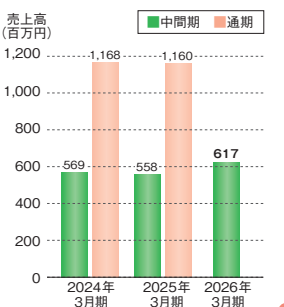
2次付きアタッチメント
(吸引アタッチメント)



パワースライドノズル
(回転式ノズル)



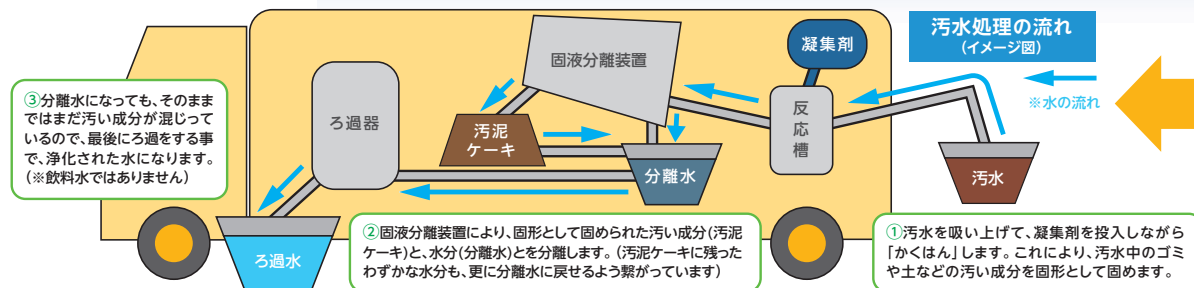
メスリング付差込ジョイント



トンネル洗浄水処理車（AG-06CF）

本製品は、トンネル内の壁を清掃した際に発生する洗浄汚水を、きれいにするために活躍する車両です。

搭載された固液分離装置で、洗浄汚水をろ過し、水を浄化することができます。



※本図は、汚水処理の流れを簡易に示したもので、実際の車両構造とは異なります。

●スーパーモービルシリーズ リニューアルへ

当社の人気車両であるスーパーモービル（SM）シリーズをリニューアルいたしました。従来車両よりも低騒音化を実現、作業音をより静かにする事に成功しております。



※当社製品従来比※騒音値は諸条件により数値変動の可能性があります。

● 累計15,000台出荷達成

2025年4月22日、当社の製品が累計出荷15,000台を達成いたしました。

当社の創業は1971年。その商品第1号は製鉄所構内などの高温の作業環境から作業者を守るための工場用冷風機、いわゆるスポットクーラーでした。その後、主力製品となる強力吸引作業車や高圧洗浄車の開発、販売を続け、創業から31年後の2002年に5,000台、更に14年後の2016年に10,000台を達成しました。

この度、15,000台を達成できたのも個別受注生産で、お客様のニーズに1台1台お応えする当社のものでづくりへの姿勢が、ご評価いただけているからこそです。これからも立ち止まらず、社会から必要とされる製品を、力を合わせてつくり続けてまいります。



● 企業CMの放映



まきの
高知県出身タレントの「蒔埜ひな」さんにご出演いただきました（撮影中の風景です）

当社では、広報力の強化や新たな人材獲得の観点から、新たに企業CMを作成し、高知県内のテレビ局やラジオ局等で放送中です。

テレビで放送中のCMにつきましては、当社公式Youtubeにもアップしていますので是非ご覧ください。



こちらから
ご覧いただけます

https://youtu.be/B-7QMnh4puM?si=wPSuHoGx7JxyW_T

● こうち産業フェスタ2025

2025年8月3日、イオンモール高知で開催された「こうち産業フェスタ」に出展しました。多数の企業や学校等が参加する中、K&Eブースでは小さなお子様にも楽しんでいただけるよう顔出しパネルや抽選会などの企画により、多くの方に立ち寄っていただきました。

抽選会では当社限定のチョコQや50周年記念タオル、K&Eロゴの入った文房具・チョコなど多くのノベルティを幅広い年齢層の方々に届けることができました。

このような展示会がきっかけとなり、高知県内だけでなく全国の方々に当社の魅力を知っていただければと思います。



抽選会の様子



当日展示した大型パネル

● アンコンシャスバイアス研修

当社では、現在SDGs推進活動の一環として、アンコンシャスバイアス研修を年2回実施しております。

アンコンシャスバイアスとは、無意識の偏見や思い込みを指す言葉であり、この思い込みを根源としたハラスメントやコミュニケーションの食い違いが発生する為、企業が取り組むべき課題の一つとして注目されています。

今年8月に実施したアンコンシャスバイアス研修では、講師の方を招き、WEB配信形式を用いてウェルビーイング（個人の幸福度合いを表す概念）等についてご教授いただきました。

この取り組みを通じて、今後も従業員全員が働きやすく風通しの良い労働環境づくりを目指してまいります。



会社の概要

設立年月日	1971年9月1日
資本金	313,700,000円
従業員数	270名
事業内容	強力吸引作業車、高圧洗浄車等 環境整備機器の製造販売

役員

代表取締役社長	山本 琴一
代表取締役専務	北村 和則
取締役	黒田 誠
取締役	田辺 良彦
社外取締役	長山 育男
社外取締役	十川 智基
常勤監査役	中野 守康
社外監査役	高芝 貴彦
社外監査役	岩田 誠

事業所

本社	〒781-5101 高知市布師田3981-7 TEL (088) 845-5511 FAX (088) 845-5211
テクノベース	
生産技術センター	〒781-8130 高知市一宮4786-34 TEL (088) 820-2900 FAX (088) 820-2440
検査出荷センター	〒781-8130 高知市一宮4786-33 TEL (088) 820-2907 FAX (088) 820-2447
東日本支社	
東京支店	〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町20-1 アンソレイエ・オオタ6F・8F TEL (03) 3667-7330 FAX (03) 3667-7333
東北・北海道支店	〒982-0011 仙台市太白区長町7-19-23 TK7ビル3F (※2025年10月20日より事務所移転) TEL (022) 248-2991 FAX (022) 248-2995
札幌営業所	〒004-0041 札幌市厚別区大谷地東1-3-23 山勇ビル5F TEL (011) 893-0861 FAX (011) 893-0860
名古屋支店	〒462-0013 名古屋市中北区東味鏡1-702 TEL (052) 902-5538 FAX (052) 902-5525
西日本支社	
大阪支店	〒566-0064 大阪府摂津市鳥飼中2-2-43 TEL (072) 653-1136 FAX (072) 653-1350
中四国支店	〒739-0026 広島県東広島市三永2-8-16 太田ビル1F TEL (082) 426-2131 FAX (082) 426-2133
四国営業所 (本社内)	〒781-5101 高知市布師田3981-7 TEL (088) 845-5511 FAX (088) 845-8844
福岡支店	〒810-0001 福岡市中央区天神3-10-1 天神源氏ビル6F TEL (092) 761-7761 FAX (092) 761-7760

株式の状況

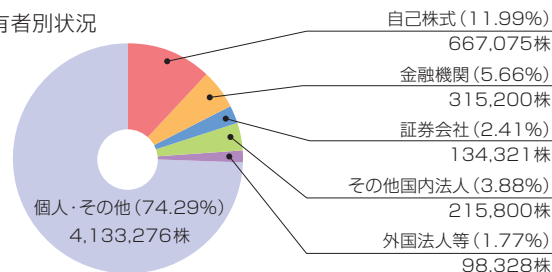
会社が発行する株式の総数	17,576,000株
発行済株式の総数	4,896,925株 (自己株式667,075株を除く)
株主数	2,820名
大株主	

株主名	持株数	持株比率
山本 琴一	479,800株	9.80%
兼松エンジニアリング従業員持株会	333,500株	6.81%
三谷 公男	319,420株	6.52%
山口 隆士	297,532株	6.08%
山本 吾一	262,860株	5.37%
柳川 裕司	197,860株	4.04%
株式会社四国銀行	152,100株	3.11%
坂本 洋介	108,700株	2.22%
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	103,900株	2.12%
三谷 仁男	97,500株	1.99%

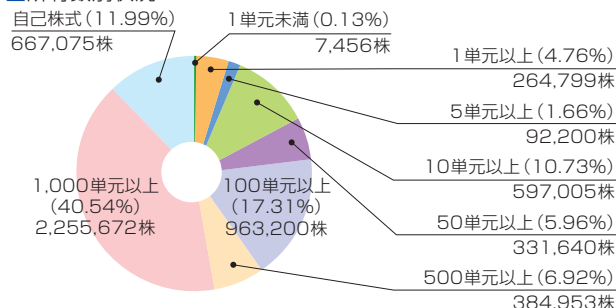
(注) 1.当社は、自己株式(667,075株)を保有しておりますが、上記表には記載しておりません。
2.持株比率は、自己株式(667,075株)を控除して計算しております。

株式分布状況

■所有者別状況



■所有数別状況



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日(中間配当を行う場合は毎年9月30日) その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

【株式に関する住所変更等のお手続きについてのご照会】

証券会社の口座をご利用の株主様は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。

証券会社の口座をご利用でない株主様は、下記電話照会先までご連絡ください。なお、お手続き方法やよくあるご質問は、下記「よくあるご質問(FAQ)」サイトでご確認いただけます。

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人事務取扱場所 大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) 電話 0120-782-031(フリーダイヤル) 受付時間 9:00~17:00(土日休日を除く)

(インターネットホームページURL) <https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/>

(よくあるご質問(FAQ)) https://faq-agency.smtb.jp/?site_domain=personal

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

公告方法 電子公告(当社ホームページ URL <https://www.kanematsu-eng.jp/>)

ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

上場証券取引所 東京証券取引所 スタンダード市場

K&E 兼松エンジニアリング株式会社

KANEMATSU ENGINEERING CO.,LTD.

本社 〒781-5101 高知市布師田3981番地7

TEL.(088)845-5511 FAX.(088)845-5211

<https://www.kanematsu-eng.jp/>



当社HP



このビジネスレポートは、環境に配慮し、再生紙と植物油インキを使用してあります。